



橋本五郎文庫14周年記念
トークで観客を魅了!

4月26日、橋本五郎文庫において、開設14周年記念イベントが開催され、町内外から約450人の方がたが訪れました。

イベントでは、橋本五郎さんとフリーアナウンサーの羽鳥慎一さん、西尾由佳理さんによる軽快なトークで会場を盛り上げたほか、長信田太鼓による演奏や橋本さんによる石破政権をテーマにした単独講演も行われ、来場者を楽しませました。

橋本さんは「地元のみなさんが支えてくれるおかげで文庫を継続することができると感謝を伝えました。」



▲ゲストとトークをする橋本さん（中央）



健やかな成長を願って♪
子どもの日に鯉まつり

5月5日、浜鯉川地区において鯉まつりが行われました。

当日は、地区内外から多くの参加者が集まり、まつりの名物「滝登り」などが披露されました。

浜鯉川自治会の三浦秀隆会長は「年々人手が不足してきているが、やり方を工夫してまつりを継続していきたい」とあいさつしました。

滝登りを披露した後は、太鼓や笛で奏でる囃子と掛け声を響かせながら、木彫りの鯉をかついで地区内を練り歩きました。

他地区から参加した太鼓の演奏をした小学生は「小さいときから参加している。伝統的な感じがあるので、これからもずっと続いてほしい」とまつりへの想いを話してくれました。



▲わっしょいわっしょい♪



日本でオンリーワン
ドッグレース開催

5月3日から5日、スーパースニックレーシングパーク（芦崎）においてドッグレースの全国大会「ジャパングラダービー」が開催されました。

同パークは日本で唯一の常設ルアーコーシング場であり、北海道や関東、近畿など全国各地から参加者が集まり、自慢の犬たちが楕円形のコースを颯爽と駆け抜けました。

大会では、犬種や体重、年齢などに応じた階級ごとにレースが分かれており、1頭ずつ走るタイムレースが行われました。

昨年に続き町内から訪れた観客は「珍しい催しなので、多くの方に知ってもらい地域を盛り上げてほしい」とレースを楽しんでいました。



▲どの犬が勝つか!?



房住山が山開き
新緑の景色を満喫♪

5月18日、房住山の山開きが行われました。

ぼうじゅ館前で、登山者の安全を祈願する神事とテープカットが行われた後、町内外から参加した70人が登山を楽しみました。

前日の雨などの影響で地面が滑りやすくなっており、多くの参加者が苦戦する中、ガイドを務めた山の会のメンバーが「足を斜めにする」と滑りにくい、「下り坂は特にゆっくりおいて」などと声をかけ、参加者をサポートしました。

頂上は霧に覆われていましたが、多くの参加者が登り切った充実感を味わいました。

下山後は、参加者にじゅんさい汁が振る舞われました。



▲登山者の安全を願って